

# 3年次演習

第2回

研究論文の読み方

人間科学科コミュニケーション専攻

白銀 純子

# 今回の内容

- ★論文とは？
- ★論文の種類
- ★論文の読み方

# 論文とは？

# 「論文」とは？

★研究者たちが研究の内容をまとめたもの

## ★分類

- ✓ 学位論文
- ✓ ジャーナル論文
- ✓ プロシーディング(Proceeding)
- ✓ ポジションペーパー
- ✓ レター論文
- ✓ サーベイ(レビュー)論文

# 学位論文

- ★学位(学士 or 修士 or 博士)を取得するためにまとめた論文
- ★各大学に提出し、大学が保管
- ★おおむね数十ページ
- ★大学により、公開されている場合と非公開の場合
  - ✓ 入手できる場合とできない場合どちらもあり

# ジャーナル論文

- ★学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
  - ✓論文誌: 学術雑誌とも
- ★研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されたもの
- ★複数の第三者から査読され、認められたもの
  - ✓査読: 第三者によって論文が読まれて評価されること
- ★一般的には他の分類の論文よりも査読が厳密で、質が高
  - ✓ただし、質は掲載される論文誌のレベルにも依存
- ★多くの場合、8ページ～十数ページ程度
- ★研究としての終着点

# プロシーディング(Proceeding)

- ★ 口頭発表の会議で発表された論文
  - ✓ 会議で発表された論文をあつめて冊子にしたものを「予稿集」または「プロシーディングス(Proceedings)」
- ★ 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されることもあり、評価・考察までではないものもあり
- ★ 第三者からの査読がされる場合もされない場合もあり
  - ✓ 査読がされる場合の厳密さは、会議のレベルに依存
- ★ 研究のある程度の成果を発表したもの
  - ✓ 考え方によっては、ジャーナル論文に向けての途中の成果
- ★ 多くの場合、6～十数ページ程度

# ポジションペーパー

- ★「ワークショップ」という形式の会議で発表した論文
  - ✓ ワークショップ: 個々のアイデアを持ち寄ってディスカッションをする形式の会議
  - ✓ 他の口頭発表の会議は、発表して質疑応答で終わり
- ★研究のアイデアレベルの内容が記述
  - ✓ 研究の問題意識や目的が記述されていて、手法は記述があったりなかったり
- ★多くの場合査読はなし
  - ✓ ワークショップのテーマに沿っている論文か、公序良俗に反しないか、程度の確認がされることはあり
- ★多くの場合、2～4ページ程度



# レター論文

- ★学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- ★速報性が重要視
  - ✓ ジャーナル論文のような厳密性(書き方や評価・考察の客観性など)はそれほど求められない
- ★第三者から査読され、認められたもの
- ★多くの場合、2～4ページ程度

# サーベイ(レビュー)論文

- ★学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- ★研究成果に関する論文ではなく、様々な他者の論文の紹介
- ★第三者から査読され、認められたもの
- ★多くの場合、8～十数ページ程度

# 論文の読み方

# 読むべき論文と見分け方は？

## ★読むべき論文

- ✓とりあえずはジャーナル論文とプロシーディング

## ★見分け方

- ✓6ページ以上、なるべく8ページ以上
- ✓かつ、研究の紹介に終始していない論文

# ライバル論文とお勉強論文

## ★自分の研究テーマに照らし合わせると、論文は2種類!

- ✓ライバル論文とお勉強論文

## ★ライバル論文

- ✓自分の研究テーマと共通する研究テーマの論文

  - ✳問題意識や目的などが共通

- ✓書いてある内容を疑って読むこと(批判的に読むこと)が必要

## ★お勉強論文

- ✓自分の知識を蓄えたり、研究の中で利用する手法を勉強したりするための論文

  - ✳自分の研究テーマとはまったく関係ないこともありえる

- ✓内容を理解し、自分の研究で使えるかどうかを考えることが必要

# 論文を読んで理解するもの

- ★ 著者にとっての問題意識は何か?

- ★ 研究の目的は何か?

➡ 第1章・第2章あたり

- ★ 研究の対象範囲(スコープ)はどのようなものか?

- ★ どのような手段で目的を達成しているか?

➡ それ以外(間の章)

- ★ 研究の結果について、著者はどのように考えているか?

➡ 最後の1・2章あたり

# 問題意識と目的

## ★論文の著者にとっての問題意識

- ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか？
- ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか？

## ★研究の目的

- ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか？
- ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか？

# 問題意識と目的(ライバル論文だと...)

## ★論文の著者にとっての問題意識

- ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか?
- ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか?

- 現状認識は正しい? ➡ 自分が認識している現状や問題点と一致している?
- 本当にそれは問題?

## ★研究の目的

- ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか?
- ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか?

- 本当にその目的を達成すると、問題解決になるの?
- なぜ、それが利点になるの? ➡ 自分が問題解決のための目的や利点を考えるとどうなる?



# 研究の対象範囲(スコープ)

- ★ 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
  - ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
  - ✓ 適用している手法
  - ✓ etc.
- ★ 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

# 研究の対象範囲(スコープ)(ライバル論文だと...)

- ★ 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
  - ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
  - ✓ 適用している手法
  - ✓ etc.

➤ 対象範囲は妥当なの?

➤ 対象以外の範囲について研究するとどうなりそう?

➡ 異なる対象範囲で研究ができないか?

- ★ 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

➡ 論文をよく読んで理解する必要!

# 目的を達成する手段

## ★論文の研究で採用している手段

- ✓どのような手段を採用しているか?
- ✓採用した手段をどのように研究に適用しているか?
  - ★オーソドックスに適用しているか?
  - ★アレンジして適用しているか?

# 目的を達成する手段(ライバル論文だと...)

## ★論文の研究で採用している手段

- ✓ どのような手段を採用しているか?
- ✓ 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
  - ★オーソドックスに適用しているか?
  - ★アレンジして適用しているか?

- 採用した手段は妥当か?
- 手段の適用方法は妥当か?

➡ 他に適用できる手段はないか?

# 研究結果

## ★研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
- ✓ 今後に残った課題はあるか？

# 研究結果

## ★ 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
- ✓ 今後に残った課題はあるか？

➤ 研究結果の解釈は妥当か？

➤ 本当にその結果で、著者の目的が達成できているのか？

➡ 目的の達成できていない部分や不十分な部分、積み残しの課題などを研究テーマにできないか？

# 論文の探し方(1)

## ★まず最初にタイトルとアブストラクト(概要)!

✓ タイトル: 論文につけるタイトル

✳ 研究テーマを簡潔に表したもの

✓ アブストラクト: 論文の内容を短く要約した文章

- タイトルとアブストラクトをもとに、しっかり読む論文を決める
- アブストラクトを読んで、論文の概要をつかむ

# 論文の探し方(2)

## ★電子データがある論文

- ✓ 1つずつファイルになっていることが多いので、入手は簡単

## ★電子データがない論文: 掲載誌の情報をもとに入手

- ✓ ジャーナル論文: 論文誌のタイトル・巻数・号数の情報が必要

- ★巻数・号数: 「2015年4月号」とか「Vol. 15, No. 4」など、毎月とか隔月などで出るので、番号を把握しておくことが必要

- ✓ プロシーディングス: 会議の名前と開催年の情報が必要

- ★毎年とか隔年などで会議が開催されるので、開催年の情報が必要

- ★場合によっては、会議の開催場所の情報が必要なことも



# 論文の探し方(孫引き)(1)

## ★ある論文で示されている引用文献を入手すること

- ✓ 論文で使われている概念や手法など:「詳しい説明は、この論文(書籍)にあるよ」と、別の文献を示している場合も多い

➡ 詳しく知りたいときは、その別の文献を入手する必要

### 第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

すぐそばにある文献の名前(or 番号)を見る

「ゴールモデル」って何???



# 論文の探し方(孫引き)(2)

## 第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

- 論文の最後にある引用文献リスト(参考資料リスト)を見る
- 文献の名前を探す

## 引用文献

...略...

(山本, 2007) 山本: ~ゴール指向による!!~システム要求管理技法,  
ソフト・リサーチ・センター, 2007

...略...

求める文献の情報なので、これをもとに入手する

# 論文の読み方(研究テーマを決めるために)

## ★読むときの優先順位

- ✓ 第1章: 著者の問題意識や研究の目的、研究の利点を理解する
  - ★研究の利点が別の章になっているときは、その利点の章も読む
- ✓ 最後の章: 研究結果や積み残した課題を理解する
- ✓ 予備知識の章: 論文を読む上で必要な前提知識を理解する
  - ★前提知識が必要な場合に
- ✓ その他の章

まずは、研究として「何をしているか?」と「利点は何か?」を理解することが重要

# 論文を読み終わったら

- ★どこかに、読んだ内容と自分の意見、出典情報をまとめておくこと
  - ✓ 論文の概要や利点・欠点
  - ✓ 自分の意見
  - ✓ 論文の掲載
    - ★ジャーナルのタイトルや巻数・号数、出版年
    - ★プロシーディングスの名前や会議の開催年
  - ✓ etc.

卒論を書くときに必要になるため

- まとめておかないと、卒論執筆時に論文を読み返すことになって無駄!
- しかも、卒論では引用文献のリストの分量も重要!

# やってみよう!

★卒論CDの中からおもしろそうな論文を選んで、読んでみよう!

★理解すべきこと

- ✓ 著者にとっても問題意識
- ✓ 研究の目的
- ✓ 研究のスコープ

★考えるべきこと

- ✓ 研究の欠点
  - ✳ スコープ外の内容
  - ✳ 解決できていない問題点
  - ✳ etc.

# 次回

- ★ 次回: 研究論文の探し方(図書館ガイダンス)
  - ✓ 情報処理教室のアカウントが必要!